

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 回腸人工肛門患者におけるペプチドYY(PYY)分泌とHigh Output Syndromeの関連性の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 一般・消化器外科 職位 講師 氏名 金子 奉暁

【試料・情報の利用目的】

回腸人工肛門造設後に生じるハイアウトプット症候群(High Output Syndrome : HOS)は、1日2000mLを超える排液により電解質異常や脱水を引き起こし、生活の質の低下や入院期間延長の原因となります。しかし、その発症機序は十分解明されていません。消化抑制ホルモンであるペプチドYY(PYY)は、回腸や左側結腸から直腸に多く存在し、HOSに関与する可能性があります。本研究は、PYYとHOSの関連を明らかにすることを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、HOSの原因解明および予防や対策につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

回腸人工肛門造設時に切除した大腸や直腸の組織、回腸人工肛門閉鎖手術で摘出した組織を試料に用います。また、情報として病歴、診療の治療歴、背景、内服歴、手術内容、人工肛門造設後の人工肛門からの排液量を用います。

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年9月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

情報の提供は行いません。

【試料・情報の取得方法】

対象者:2014年1月～2025年7月までに東邦大学医療センター大森病院

一般・消化器外科において、回腸人工肛門閉鎖の手術を受けた方

方法:保存されている人工肛門部の組織を顕微鏡で検討します。また、診療録(カルテ)から抽出したデータを解析し、組織所見と関連性があるか検討します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 研究代表者:金子 奉暁 役職: 講師

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大森病院のみで利用します。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科 金子 奉暁

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2025年11月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科

職位 講師 氏名 金子 奉暁

電話03-3762-4151 内線 6530